



＝＝＝  
イベントのお知らせ  
＝＝＝

■【平成24年北方建築総合研究所調査研究発表会（旭川）を開催します。】

日 時：平成24年5月17日10：00～16：30  
会 場：大雪クリスタルホール（旭川市神楽3条7丁目）

北総研が取り組む住まいや建築・まちづくりの研究について、平成23年度に終了した29課題の研究結果を発表します。

「建物の保全と構造」「省エネルギーと室内環境」「地域と建築」「安全・安心な地域づくり」「材料活用と長寿命化技術」の5つのセッションで行います。また、特別報告として、ドイツの省エネルギーに関する最新情報を報告します。

最新の情報・案内チラシ・参加申込書については、次のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nrb.hro.or.jp/120517happyoukai.html>

お忙しい時期であるかと思いますが、皆さまのご参加をお待ちしております。

（企画課 神田）

＝＝＝  
特集 「既存住宅の省エネ・エコ改修のススメ」  
＝＝＝

北海道の住宅に関するCO2排出量は、全国に比較して特に暖房に係るエネルギー消費が多くなっています。この住宅分野のCO2を削減するためには、新築のみならず、約37万戸とも言われる既存住宅の断熱改修を促進する必要があります。

しかし、断熱改修は費用対効果が見えづらいこと、どの様な改修が効率的か分かりにくいなど、ユーザーや事業者が的確な情報を得られにくい状況であると言えます。

このため、それらの情報を容易に得ることができるプログラムとして、「木造住宅の省エネ・エコ効果表示プログラム」を道庁建築指導課と当所が共同で作成しました。

プログラムの内容は、デグリーディ法によりエネルギー消費量などを算出するもので、建設地域や既存住宅の仕様、設備機器などの各データを入力した後、改修工事の内容を選択入力することで、改修前後の暖房・給湯等の消費エネルギー量やCO2排出量の表示、エネルギー削減率、概算工事費が算出されます。このプログラムは、まだ改修について具体的な検討や情報収集などを行って

ない、改修予備軍の方々でも使用できるように、既存住宅の断熱仕様などについてわからない場合でも建設年代から推測して算出することができます。また、改修内容はお勧め改修ボタンを設けるなど、手軽に操作できるようにしています。事業者が使用する場合には、省エネ効果などを把握し、それをユーザーへの具体的な説明などに使用できます。

本プログラムを活用して、省エネ・エコ改修をススメて頂ければと思います。今年度は、昨年度に引き続きこのプログラムや普及資料を使用して現地講習会などを予定しています。

なお、できるだけ使いやすいプログラムとするためにご意見を募集しています。よろしくお願い致します。

「木造住宅の省エネ・エコ効果表示プログラム」 [www.nrb.hro.or.jp/eco/](http://www.nrb.hro.or.jp/eco/)

(居住科学G 廣田)

=====  
研究紹介 「冬季の歩行安全性評価方法に関する研究」  
=====

北海道は降雪による凍結路面と氷点下の気温という気象条件により冬期間の外出が抑制されています。特に高齢者や障がい者にとって、転倒したときのケガによる被害は大きくその後の生活に支障をきたすことも多い状況です。歩行時の転倒の原因は歩行者と歩行環境に原因が分類され、床材・積雪・靴などにより転倒リスクが変動するため、歩行時の滑りやすさと転倒危険性について総合的に評価することが必要です。

冬季転倒要因を調査すると、屋外での転倒は滑りにより発生し雪道転倒により救急搬送される方は、時間歩行者が増える朝と夕方に多く、年齢層は高齢者が多い状況でした。また、冬季の歩行特性を把握するために動作解析実験を行い、路面状況の影響による歩行の変化として歩行速度や足の振り上げを調整して転倒しないようにしていました。

歩行安全性試験方法の検討を行い、積雪状況での靴や滑り止め材の効果を実験室内で測定できるように滑り性試験方法を提案しました。建築物の管理状況の評価や施設計画に関しての情報提供や、靴や滑り止めの製品開発の支援も対応します。また、JIS A 1454に準じた冬季積雪条件の床滑り試験の依頼試験も引き続き受け付けておりますので、御利用ください。

(居住科学G 林)

=====  
最近の研究所の動き  
=====





